

Webインターフェイスおよび CLI によって MXP エンドポイント製品、リリースおよびオプション キーをインストールして下さい

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[Webインターフェイスによって MXP キーをインストールして下さい](#)

[Command Line Interface \(CLI \) によってキーをインストールして下さい](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

この資料は Webインターフェイスおよび Command Line Interface (CLI) によって MXP エンドポイントのリリース、オプション、帯域幅 オプションおよびプロダクトキーのインストールを記述したものです。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

Webインターフェイスか Command Line Interface (CLI) によって到達可能であるはたらく MXP エンドポイントを持ち、有効な IP アドレスを適用しました。

に MXP シリアル番号のための受け取ったリリースおよびかオプション キー適用し。

Firefox のような Webブラウザを、Internet Explorer か Chrome 使用しました。

Webインターフェイスか CLI によって管理者アカウントの MXP にアクセスできて下さい。

MXP エンドポイント ソフトウェア イメージ構文および意味の知識を持って下さい。

注: すべての MXP エンドポイントは End of Life (EoL) であり、ほとんどはサポート終了 (EoS) に達しました。この資料が MXP 製品 EoL ステータスをチェックするために適用するエンドポイントの一覧に関しては、MXP 製品をここに見つけば:

<http://www.cisco.com/c/en/us/products/collaboration-endpoints/eos-eol-listing.html>

使用するコンポーネント

MXP エンドポイント リリース F9.3.4 NTSC。

MXP エンドポイント リリース F8.X および F9.X

注: リリース キーは暗号化された非暗号化ソフトウェアのために異なります。

注:

暗号化されたソフトウェアにソフトウェア イメージ名前で 0000 がすべてあります
s50000fX_Y.pkg: X つは主要なバージョン、Y ですマイナーなバージョンです。例：
s50000f9_3_1.pkg

注:

非暗号化ソフトウェアにソフトウェア イメージ名前で 0001 があります
s50001fX_Y.pkg: X つは主要なバージョン、Y ですマイナーなバージョンです。例：
s50001f9_3_1.pkg

Release 鍵、プロダクトキー、Option 鍵の認可電子メールまたは **Option 鍵 帯域幅**。

Webブラウザ。Firefox は、Internet Explorer および Chrome 同様にうまくはたらく必要があります。

PuTTY (ターミナル エミュレーションソフトウェア)

--また、セキュア CRT のような SSH をサポートするターミナル エミュレーションソフトウェアを、TeraTerm 等使用する可能性があります。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

設定

Webインターフェイスによって MXP キーをインストールして下さい

ステップ 1: MXP をインストールしたら、シリアル番号を Release 鍵、プロダクトキー、Option 鍵に適用されてまたは PAK およびシリアル番号を使用して Option 鍵 帯域幅持てばある含まれていないまたはこれらの種のキーすべてかもしれないまたはそうではないかもしれないチームを認可しているライセンス電子メールを Cisco から受信します。いくつかのこれらのキーの例を表示できます。

注: PAK の例はこの資料の範囲外にあります。

電子メール例:

You have received this email because your email address was provided to Cisco Systems during the Serial Number Lookup process for software license activation key/file. Please read this email carefully and forward it with any attachments to the proper system administrator if you are not the correct person.

```
System Serial Number      : 419
Hardware Serial Number   : 419
MAC Address               : 
Service Contract         : -
SC End Date              : -

Software Part Name       : LIC-S50000-K9:
Tandberg Item No        : LIC-S50000-K9:SW PAL/NTSC for MXP
Shipped Version         : -
Shipped Version Key     : -
Shipped Image URL       : -
Upgrade To              : -
Upgrade To Key           : 6291319828961274
Upgrade To Image URL    : -
```

Release Key

```
Options
Cisco Option Name        : LIC-6000:
Tandberg Option Name    : 11389004:Codec 6000 MXP product id
Option Key               : 4572186615075616
```

Product Key also is an Option Key

```
Options
Cisco Option Name        : LIC-6000-BWD:
Tandberg Option Name    : 1138561:Codec 6000 MXP 384/1.5M sw option
Option Key               : 1940633575156969
```

Bandwidth Option Key

CAUTION: If the Unified Messaging for Exchange and Domino license file is misplaced or lost, it can take up to one business day to get another copy.

ステップ 2： 管理者アカウントの MXP Web インターフェイスへのログイン。システム構成 > ソフトウェアアップグレードへのナビゲート。Option 鍵をライセンス電子メールからコピーし、新しい Option 鍵 フィールドで Option 鍵値を入力し、オプションを『Enable』をクリックして下さい:

Software Option

New Option Key **Click Enable Option**

Bandwidth Option Key

Install Software

Release Key

手順 3： システム構成 > ソフトウェアアップグレードへのナビゲート。Option 鍵 帯域幅をライセンス電子メールからコピーし、帯域幅 Option 鍵 フィールドで帯域幅 Option 鍵値を入力し、Bw オプションを『Enable』をクリックして下さい:

Software Option

New Option Key

Enable Option

Bandwidth Option Key

Enable Bw Option

Install Software

Release Key

Install Software

注: Option 鍵 帯域幅はすべての MXP エンドポイントに適用しないかもしれません。このステップはこのオプションをサポートする MXP モデルのためです。

ステップ 4: システム構成 > ソフトウェアアップグレードへのナビゲート。Release 鍵をライセンス電子メールからコピーし、Release 鍵 フィールドで Release 鍵値を入力し、Software を『Install』 をクリックして下さい:

注: この資料は MXP エンドポイントのためのアップグレー ソフトウェア イメージをダウンロードしたことを仮定します。F8.X に F9.X のような主要なバージョンをアップグレードする場合の Release 鍵変更だけ。

Software Option

New Option Key

Enable Option

Bandwidth Option Key

Enable Bw Option

Install Software

Release Key

Install Software

ステップ 5: MXP Webインターフェイスへのログイン。プロダクトキー フィールドでプロダクトキー値を入力して下さい。プロダクトキーを『Enable』 をクリックして下さい:

Set Product Version

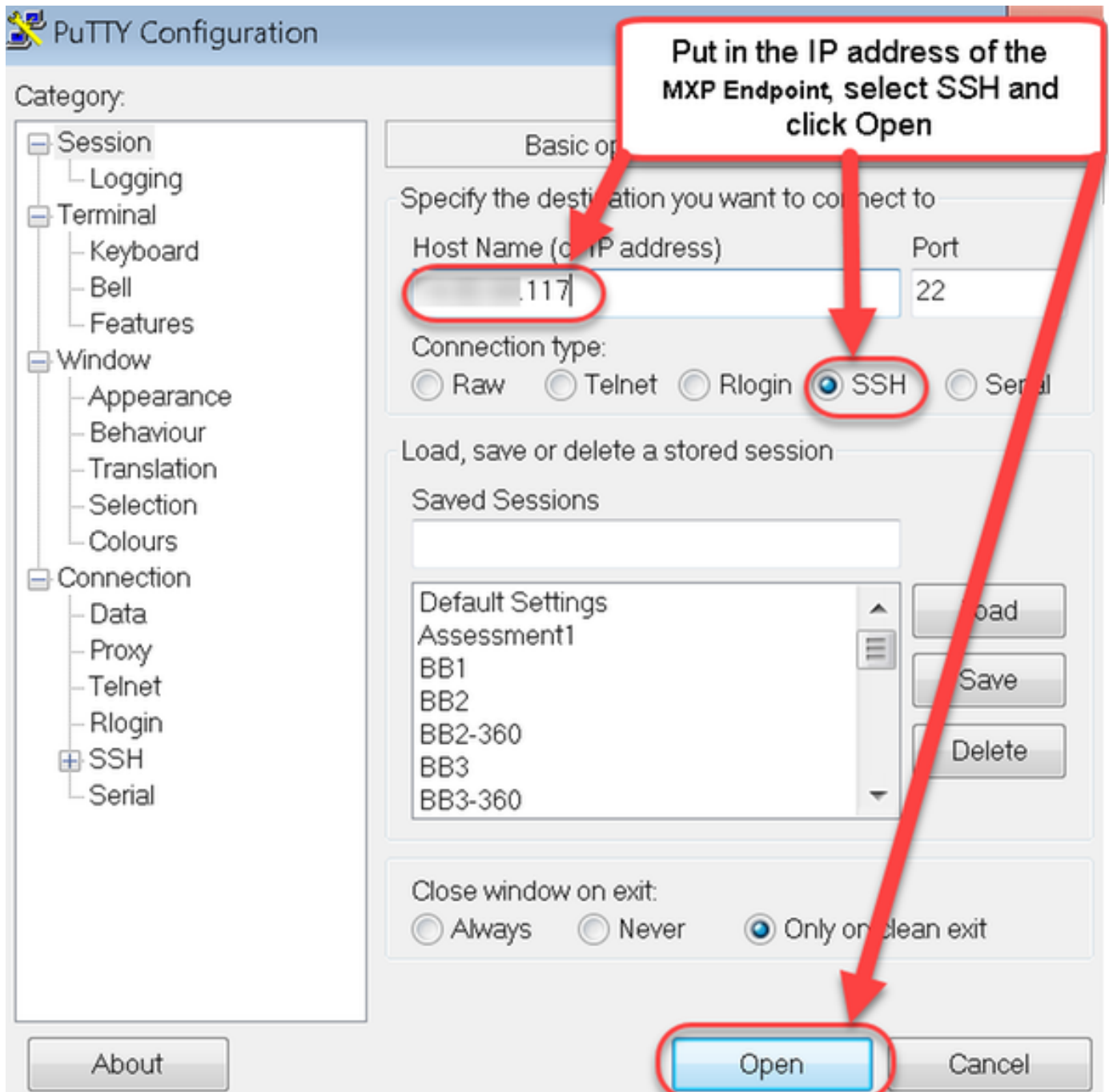
System Information	
Product ID	TANDBERG CODEC 3000MXP
Software Version	F9.0.2 NTSC
Hardware Serial Number	33A49689
Current Product Key	0467555516907895

Camera setting	
Camera type (NTSC)	<input type="button" value="NTSC"/> <input type="button" value="PAL"/> Change require reboot to activate

Product Option	
Product Key	<input type="text"/>
	<input type="button" value="Enable Product Key"/>

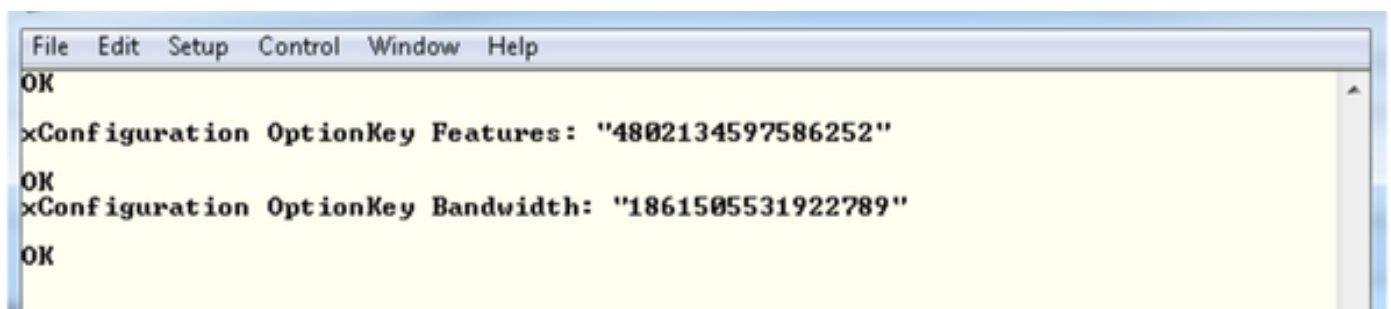
Command Line Interface (CLI) によってキーをインストールして下さい

ステップ 1 : PuTTY を開き、MXP エンドポイントにセキュア シェル (SSH) か Telnet セッションを開始して下さい。 管理者アカウントのログインはプロンプト表示されたとき管理者アカウント パスワードを入力し。



ステップ 2: コマンド xConfiguration OptionKey 機能との Option 鍵または帯域幅 Option 鍵値を入力して下さい: [xxxxxxxxxxxxxxxx]

そして xConfiguration OptionKey 帯域幅: [xxxxxxxxxxxxxxxx]:



確認

システム構成 > ソフトウェアアップグレードにナビゲートし、インストールされるキーを観察して下さい。

Software Upgrade

System Information

Software Version	FX.3.4 NTSC
Hardware Serial Number	39822434
Installed Options	MultiSite, Presenter, Security
Current Feature Option Key	2227794654642381
Current Bandwidth Option Key	5652428747843063

トラブルシューティング

MXP エンドポイントに **Release 鍵**か **Option 鍵**インストールするとき問題を持たないで下さい。である障害のためのもっとも一般的な原因アップグレードするとき **Option 鍵**を Conductor の **Release 鍵** フィールドで入力するか、または **Option 鍵**を入力して下さい。この記事の始めに引用される電子メール例はオプション キーおよび **Release 鍵**を示したものです。エラーに出会う場合、使用しました MXP エンドポイント シリアル番号のために正しいキーを確認すればそれぞれのキーのための正しいフィールドでこの資料で以前に注意されるように正しいキー値を入力しました。

注意されるこれらを越えて見つけれられるあらゆる問題に関しては Cisco TAC を実行して下さい。